

東海道第五十一宿

石部

いしば

石部は京都から江戸へ向かう旅人が
最初に泊まった宿場である。
見どころは天然記念物のウツクシマツ石部
の正倉院 江戸時代の道中茶の和牛散
本鋪二百年前のゾウの化石など。
歴史・文化・自然・地質と幅広い。

さなれた町である切妻屋根
の民家が相次ぎ残って旧街道
の面影をそのままとめてくる
この辺は近江茶の産地で、古風
なたたずまいの茶の店が多い。



東海道 五十一宿

東海道
五十一宿
石部

石部
目川堂

ウツクシマツの群生

水口から石部へ向かう途中でぜひ見ておき
たいのが平松のウツクシマツである。

松は普通一本の太い幹から枝が出るが、ウツク
シマツには主幹というものがなく根元からい

くつにも株分かれしている。このため扇か傘

ホウキのような形をしており、マツには見えな

ないこの珍しい樹木は美松山の南東斜面

に二百数十本ほど群生しており天然記

念物地質の影響で、さまざまな変種にまた



石部宿場の里

JR石部駅の南にある雨山文化運動
公園内

江戸時代の旅籠、農家・商家や茶店
をより当時の生活を再現している。

敷地内には東海道歴史民俗資料
館もあり石部宿の模型などが展示さ
れている。

石部の正倉院と暮らす常楽寺、
長寿寺がある。ともに良弁の開基といわ
れ西寺東寺と呼ばれ常楽寺は国室
の本堂、三尊塔長寿寺には国室の本堂
があり鎌倉・室町期の古いものである。